

# 平成26年度ヤクシカの生息状況

## 1. これまでの糞粒調査の結果と糞塊調査の結果

	地点名	糞粒数				推定生息密度 (頭/km <sup>2</sup> )				糞塊数	糞塊密度 (数/km)
		H20/21	H24	H25	H26	H20/21	H24	H25	H26	H26	H26
国立公園	尾之間	-	-	-	132	-	-	-	15.5	11	5.4
	ヒズクシ	-	-	-	3753	-	-	-	432.2	28	15.4
	淀川登山口	-	-	-	537	-	-	-	61.8	26	11.0
	西部林道	644	626	2175	1166	96.7	110.2	447.6	214.4	32	12.9
	西部林道2	-	512	838	2228	-	93.9	114.9	239.8	141	49.1
国有林	志戸子林道	303	291	70	26	43.7	47.6	24.7	4.5	12	4.1
	安房	63	48	333	417	7.1	7.1	64.6	72.3	4	1.8
	一湊林道土面川	-	-	-	1099	-	-	-	126.6	12	5.2
	宮之浦林道	-	-	-	551	-	-	-	63.5	31	14.8
	愛子西	-	-	-	229	-	-	-	26.4	10	5.7
その他 (民有林等)	中間2	-	-	-	820	-	-	-	239.8	74	35.7
	カンカケ岳	305	279	147	21	44.0	47.6	24.7	3.2	131	47.2
	愛子岳	432	366	195	37	62.4	57.8	37.6	6.4	98	32.7
	大川林道入口	398	434	516	769	59.8	84.7	128.0	170.3	138	64.1
	千尋滝	41	52	121	88	5.9	8.9	23.4	15.2	64	34.5
	平内	103	258	431	285	15.5	45.0	84.6	50.0	68	24.4
	吉田	-	233	287	576	-	40.0	39.3	58.2	33	13.4
	中間	-	737	1509	1144	-	135.1	206.9	123.1	550	170.6
	恋泊	-	167	48	134	-	29.8	6.6	14.4	16	8.0
永田	-	-	184	683	-	-	19.1	69.0	129	55.8	

※ 黄色セルの糞粒調査は計120㎡ (調査ライン240m) で実施している。その他については計110㎡ (調査ライン220m) で実施。

出典：H26 環境省資料

## 2. ブロック別推定個体数

(単位:頭)

ブロック 区分	平成 20 年度	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	補正なし モデル	海岸線0補正モデル (95%信頼区間上限値)		海岸線補正モデルを基本 に西部のみ補正なしモデ ル (95%信頼区間上限値)		海岸線補正モデルを基本 に西部のみ補正なしモデ ル (95%信頼区間上限値)	
北部	1,800	2,654	(3,776)	2,796	(4,508)	2,344	(3,138)
北東部	2,573	2,796	(3,825)	3,412	(5,540)	1,535	(2,645)
南東部	705	310	(496)	286	(400)	233	(410)
南部	732	772	(947)	193	(332)	496	(514)
西部	3,905	4,793	(6,355)	3,989	(6,665)	13,354	(23,425)
中央部	6,692	7,352	(8,483)	6,631	(10,078)	9,430	(13,492)
全体	16,015	18,677	(23,882)	17,307	(27,523)	28,392	(44,624)

※モデルは海岸線に密度0を入れて補正した「海岸線0補正モデル」と「補正なしモデル」の二種類を検討。捕獲が進んでいなかった平成 20 年度では低地での捕獲圧や追い上げ効果を入れていない「補正なしモデル」を採用し、平成 24、25 年度では、低地での数千頭の捕獲の実態と追い上げ効果を考え、「海岸線0補正モデル」を採用した。

※今年度は、糞粒地点数および位置の関係から、平成 25 年までの推定値と比べて北部、北東部、南東部の個体数推定値においては、過小評価、西部については過大評価となっている可能性がある。